平成23年行政事業レビューシート (外務省)															
事	業名	日本人若手英語教員派遣事業					23部			北米局			作成責任者		
	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	平成23			23年度開始			担当課室		4	北米第一課			課長 吉田 朋之	
	計区分				般会計			施策	名	I-2 北米地域外交					
(具	処法令 体的な も記載)	外務省設置法第			5第4约	第4条第1項		関係する計画、通知等							
(1)教員研修を通じた英語教育の充実と英語教員の資質(英語教授能力及び米国への理解度)の(2)中長期的な日米同盟の深化・発展のための日米交流の強化 事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)							解度)の向上	Ξ.							
(5行程	業概要 建度以内。 添可)	若手英語教員を約6ヵ月間米国に派遣し、現地の大学で英語教授法を学ばせるとともに、米国での人的交流やホームステイを通じて米国への理解を深め、英語教員の英語指導力及び英語によるコミュニケーション能力の充実を図る。また、この事業は、中長期的な視点に立ち、日米同盟の深化・発展のための国民の幅広い層における相互理解の推進に資するものである。本事業は文部科学省と外務省の共管事業。													
実別	拖方法	口直接実施			□業務委託等		□補	□補助		口貸付	□その他	コその他			
						20年度	214	年度		22年度		23年度		24年度要求	
		予	当初予算			-	-	_		_		200		160	
予算	算額。 1 行額 1:百万円)	算の	0			_		_		_					
執		状況	繰	越し等											
(+12		7)6	āT			200		<u> </u>	160						
		執行額		-		-	_		_						
		執行率(%)			-			_		_					
		成果指標							単位	20年度	21年月	隻	22年	度	目標値 (23年度)
	目標及び 果実績				目指すものであり、参考と			実績		_	_		-		80%
(アウトカム)		世論	調査には		日本人の外交に関する リカに対する親近感を る。			成度	%	-	-		-		
				活動	動指標 人英語教員の人数。			$\overline{}$	単位	20年度	21年月	葽	22年	度	23年度活動見込
活動	指標及び 助実績 トプット)	1年間で派遣する日本ノ						加実績	人	-	-		-		_
							₽	み)					()	(96)
単位当たり コスト		(円/)	算出	岀根拠								
	費目		23年度当初予算 24年度要求			主な増減理由 単価の見直しによる減									
平成23・24年度予算	その他			199	9,871	159,94	7 - - -			単価	の見直しに	よる洞	k		
算 内 訳							1								
	計		199	9,871	159,94	7									

事業所管部局による点検									
	評価	項目	特記事項						
目的	_	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。							
状・況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。							
算の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。							
資金	0	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。							
の	0	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。							
使れ、	_	受益者との負担関係は妥当であるか。							
費	0	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。							
· ·	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。							
活動	_	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。							
実績	0	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。							
•	_	動実績は見込みに見合ったものであるか。							
成果実績	_	一 類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか							
実績	_	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。							
点検結果	本事業の	D実施にあたっては, 予算の適切な執行に努める。							
		予算監視・効率化チームの所見							
	事業について精査をした結果,一部事業の縮小。								
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	算要求における反映状況等)						
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)									

	※平成22年度実績を記入
資金の流れ	
(貧金の受け取りたがなった。	
り元が凹を行う	
て補足する)(単	
資金の流れ (資金の受け取 り先が何を行っ ているかについ て補足する)(単 位:百万円)	

		A.			E.			
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)		
			(Д/311/			(17311)		
			0	計		0		
	ĒΙ		0	ĒΙ	F	0		
	# 0	B.	金額	# 0	F	金 額		
	費目	使 途	(百万円)	費目	使 途	(百万円)		
費目・使途 (「資金の流れ」								
リーナソングデロー								
において最大の クででは、 大きに、最大されていいで、 で記載する。費 目と使途の双方で実情が分かる ように記載)								
を ないる者につい								
て記載する。費 目と使途の双方								
で実情が分かる								
よりに記載)	計		0	計		0		
		C.		G.				
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)		
			(17311)			(17311)		
	計		0	計		0		
	ĒΙ	D.	0	H.				
	費目	使途	金額(百万円)	費目		金額		
	具 口		(百万円)	其 口	汉 迩	金額(百万円)		
	計		0	計		0		

支出先上位10者リスト A.

A.					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					